

令和2年度の目玉研究等 食品総合研究所

◆センシング技術・ICTによる漁獲物選別および加工の 省力化・見える化技術の開発事業

【背景】

- ・水産業は慢性的な新規就業者不足と高齢化により、担い手の確保が困難になっています。
- ・高生産性・高付加価値型産業への転換を図らなければ、現状維持も難しい状況にあります。
- ・成長産業化に向け、漁業の効率化、加工流通の効率化、產品の高付加価値化が課題です。

【目的】

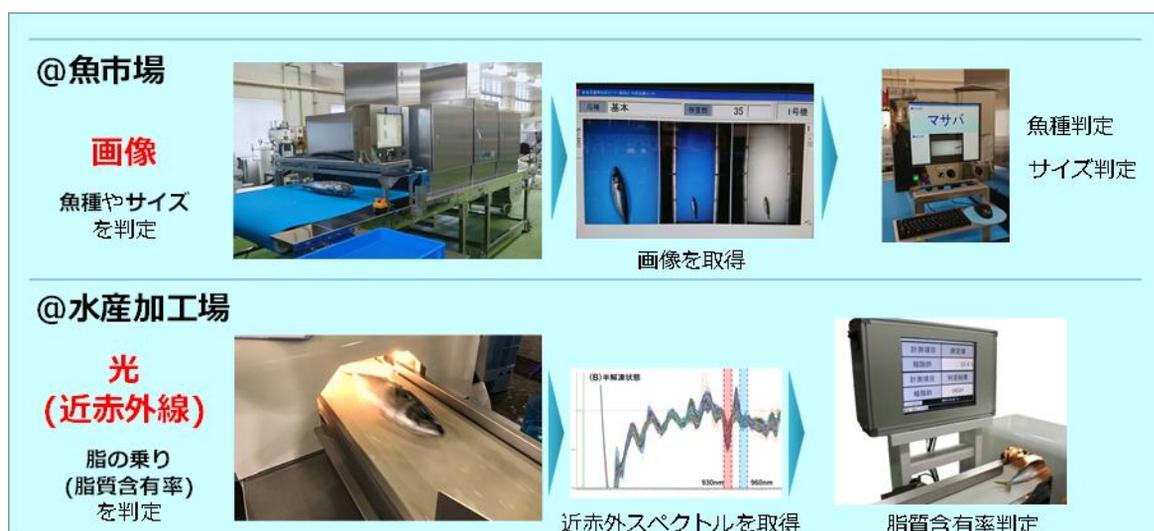
- ・画像センシングによる漁獲物の陸揚げ後の作業性向上を目的とした自動選別技術や光センシング技術による高付加価値型製品の開発と実証試験を行います。
- ・工業総合研究所と協力し、ICTを用いてこれら技術の見える化を行います。

【R2目標】

- ・漁業者による画像センシングを用いた漁獲物自動選別の実証試験をサポートします。
- ・加工企業による光センシングを用いた高付加価値型製品製造の実証試験をサポートします。

【今後】

- ・県内への普及を目指し、省力化マニュアル(仮称)を作成して技術の導入支援を行います。



本研究は農研機構生研支援センター「生産性革命に向けた革新的技術開発事業」の支援を受けて実施しています。

お問い合わせ

食品総合研究所 水産食品化学部 (電話0178-33-1347)